

【取組内容】



- **中学生を対象に「ジェンダー視点を取り入れた防災教育」を展開**することで、次世代の災害時における実践的な力量を形成するとともに、男女共同参画の意識向上を推進。
- 災害時のみならず、平時における**ジェンダー平等や多様性配慮への気づき、防災意識の向上、「持続可能な社会の創り手」の育成**に貢献。
- 学内の取組に留めず、地域住民、自治体、教育委員会、女性消防団、防災士等を巻き込み、臨場感に富んだ模擬体験を行うことで、**広範な関係者へも防災知識を普及**。

【評価ポイント】

- ジェンダー平等と防災教育の両面での取組推進。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性	ジェンダー視点を含めた防災教育は、気候変動による世界的な災害リスクが高まる中で国内外のロールモデルとなり得る。
包摂性	広範な関係者ととともに臨場感のある体験を行うことで、女性や障害者等多様な方々の参画の重要性を喚起。
参画型	地域住民、自治体、教育委員会、女性消防団、防災士等と連携し活動を展開。
統合性	災害時における女性の貢献を学ぶことで、防災知識のみならず平時からジェンダー平等の重要性を喚起。
透明性と説明責任	HPやリーフレットの作成、ワークショップ等のイベント参加で幅広く活動内容を公表。外部評価も行う。

